

ユネスコ世界ジオパークに再認定決定！

ユネスコ世界ジオパーク地域には、4年に1度再認定審査が義務付けられています。これは、ジオパークの品質保持のために、見どころがきちんと保全され、観光等の産業や教育と結びつき、地域一体となって活動しているかを確認する審査です。

令和5年9月5日、北アフリカのモロッコ王国にあるマラケシュで、ユネスコ世界ジオパーク国際会議が開催され、その中で現地調査が行われた地域の認定可否についての審議が行われました。審議の結果、洞爺湖有珠山ジオパークはユネスコ世界ジオパークに再認定されました。今後4年間、ユネスコ世界ジオパークとして地域の魅力発信を続けられることとなります。

アポイ岳ジオパーク（北海道様似町）、室戸ジオパーク（高知県室戸市）も、4年間の再認定となりました。



会場建物（写真左）と審議会の様子（写真右）。今年現地審査が行われた地域のうち60地域について、審議されました。

モロッコの地震報告

ユネスコ世界ジオパーク国際会議の期間中、モロッコでマグニチュード6.8の地震が発生しました。世界文化遺産にも登録されているマラケシュの旧市街地は石造りの建物が多く、外壁が崩れ落ちたりするなどの被害がありました（写真）。子どもやペットを連れて逃げる人や、車で移動する人で、道路は一時身動きが取れない状態になりました。山間部では広範囲に被害が及び、死者2800人（9月12日時点）という惨事となってしまいました。

この地震は、プレートの動きに起因して発生したと考えられています。そのような地震は、これまで日本でも多く発生しています。

私たちも、有珠山の噴火はもちろん、地震や津波などの自然災害に備えることが大切です。地震が来た時に自分や家族の身を守るか。今一度、おうちの中をチェックしてみてください。

